

分類：臨床医学Ⅲ

授業科目名：救急疾患（Emergency Medicine）

対象学年：4年次必修

時間割コード：71633028

開設学期等：第1週～第6週（毎週火曜日5-10時限）

単位数：0.5

#### 1. 主任教員

中永士師明（教授、救急・集中治療医学講座、6183、オフィスアワー：8：30-17：00）

#### 2. 担当教員

中永士師明（教授、救急・集中治療医学講座、6183、オフィスアワー：8：30-17：00）

奥山学（准教授、救急・集中治療医学講座、6184、オフィスアワー：8：30-17：00）

北村俊晴（特任助教、総合診療医センター）

佐藤佳澄（特任助教、総合診療医センター）

白幡毅士（助教、高度救命救急センター）

今明秀（非常勤講師、八戸市立市民病院）

師井淳太（非常勤講師、秋田県立循環器・脳脊髄センター）

佐藤誠（非常勤講師、北秋田市民病院）

#### 3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

救急・災害医療の病態を理解し、その診断・治療を学ぶ。

- 1) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動できる。
- 2) わかりやすく正確な説明、プレゼンテーションができ、カンファレンスを充実することができる。
- 3) チームの一員として患者・家族・医療者に敬意を持ち、信頼・協調して診療に従事することができる。
- 4) 困難な状況下における患者・家族・医療者とのコミュニケーションができる。
- 5) 重症救急疾患の病態生理を説明できる。
- 6) 救急現場における医療安全・医療倫理を説明できる。
- 7) 緊急性や重篤性を考慮して鑑別すべき疾患をあげることができる。
- 8) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。
- 9) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切にEBMを実践できる。
- 10) 適切に診療記録を記載し、プレゼンテーションやコンサルテーションができる。
- 11) 医療安全に配慮した基本的な手技が実践できる。
- 12) 地域医療・地域包括ケアを理解して、適切な医療連携と初期対応を実践できる。
- 13) 課題解決のための基礎となる科学的理論と方法論、研究倫理を理解し、実践することができる。
- 14) 絶えず進歩する医学・医療について適切な情報収集能力と解析力を持ち、生涯にわたり自ら学び、自己研鑽を続けることができる。

#### 4. 教科書・参考書

1. Up to Date
2. 救急診療指針
3. BLSヘルスケアプロバイダーマニュアル
4. ACLSプロバイダーマニュアル
5. 外傷初期診療ガイドライン

#### 5. 成績評価の方法

出席状況、受講態度、統一試験などに基づいて総合的に評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

1. 講義日程は変更になる場合があります。
2. 教科書・参考書をもとに予習しておくこと。また、配布資料をもとに繰り返し復習しておくこと。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	4月19日 (火)	7-8時限	講義	<p>テーマ：外傷1</p> <p>1) 外傷の病態生理を概説できる。</p> <p>2) 緊急性や重篤性を考慮して鑑別すべき疾患を列挙できる。</p> <p>3) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。</p>	奥山 学	第二病棟2階多目的室
2	4月19日 (火)	9-10時限	講義	<p>テーマ：外傷2</p> <p>1) 災害医療供給体制を概説できる。</p> <p>2) 災害医療におけるトリアージを理解できる。</p> <p>3) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。</p>	奥山 学	第二病棟2階多目的室
3	4月26日 (火)	7-8時限	講義	<p>テーマ：再接着</p> <p>1) 重度四肢外傷の初期治療について説明できる。</p> <p>2) 切断肢・指の治療について説明できる。</p> <p>3) 切断肢・指の再接着後の機能回復を目指して総合的な治療を計画できる。</p>	白幡 毅士	第二病棟2階多目的室
4	4月26日 (火)	9-10時限	講義	<p>テーマ：内科救急の ABCD</p> <p>1) 困難な状況下における患者・家族・医療者とのコミュニケーションができる。</p> <p>2) 内科救急疾患の病態生理を説明できる。</p> <p>3) 救急現場における医療安全・医療倫理を説明できる。</p> <p>4) 緊急性や重篤性を考慮して鑑別すべき疾患をあげることができる。</p> <p>5) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。</p> <p>6) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切にEBMを実践できる。</p> <p>7) 適切に診療記録を記載し、プレゼンテーションやコンサルテーションができる。</p> <p>8) 医療安全に配慮した基本的な手技が実践できる。</p>	佐藤 誠	第二病棟2階多目的室
5	5月10日 (火)	5-6時限	講義	<p>テーマ：多職種連携</p> <p>1) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切にEBMを実践できる。</p> <p>2) 適切に診療記録を記載し、プレゼンテーションやコンサルテーションができる。</p> <p>3) 地域医療・地域包括ケアを理解して、適切な医療連携と初期対応を理解できる。</p> <p>4) 課題解決のための基礎となる科学的理論と方法論、研究倫理を理解できる。</p>	北村 俊晴	第二病棟2階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
6	5月10日 (火)	7-8時限	講義	<p>テーマ：BPSモデル</p> <p>1) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動することを理解する。</p> <p>2) 総合診療における医療安全・医療倫理を説明できる。</p> <p>3) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。</p> <p>4) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動できる。</p> <p>5) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動できる。</p> <p>6) わかりやすく正確な説明、プレゼンテーションができ、カンファレンスを充実することができる。</p> <p>7) チームの一員として患者・家族・医療者に敬意を持ち、信頼・協調して診療に従事することができる。</p> <p>8) 困難な状況下における患者・家族・医療者とのコミュニケーションができる。</p>	北村 俊晴	第二病棟2階多目的室
7	5月10日 (火)	9-10時限	講義	<p>テーマ：急性期脳卒中治療</p> <p>1) 脳卒中の病態生理を説明できる。</p> <p>2) 脳卒中における医療安全・医療倫理を説明できる。</p> <p>3) 緊急性や重篤性を考慮して鑑別すべき疾患をあげることができる。</p> <p>4) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。</p> <p>5) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切にEBMを実践できる。</p>	師井 淳太	第二病棟2階多目的室
8	5月17日 (火)	5-6時限	講義	<p>テーマ：劇的救命</p> <p>1) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動できる。</p> <p>2) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動できる。</p> <p>3) わかりやすく正確な説明、プレゼンテーションができ、カンファレンスを充実することができる。</p> <p>4) チームの一員として患者・家族・医療者に敬意を持ち、信頼・協調して診療に従事することができる。</p> <p>5) 困難な状況下における患者・家族・医療者とのコミュニケーションができる。</p>	今 明秀	第二病棟2階多目的室
9	5月17日 (火)	7-8時限	講義	<p>テーマ：臨床に即した救急1</p> <p>1) 救急初期対応について説明できる。</p> <p>2) 救急初期対応時に付随する家族対応の注意点をあげることができる。</p> <p>3) 適切な治療方針を計画できる。</p> <p>4) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切にEBMを実践できる。</p> <p>5) 適切に診療記録を記載し、プレゼンテーションやコンサルテーションができる。</p> <p>6) 医療安全に配慮した基本的な手技を理解できる。</p>	佐藤 佳澄	第二病棟2階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
10	5月17日 (火)	9-10時限	講義	テーマ：臨床に即した救急2 1) 救急初期対応について説明できる。 2) 救急初期対応時に付随する家族対応の注意点をあげることができる。 3) 適切な治療方針を計画できる。 4) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切にEBMを実践できる。 5) 適切に診療記録を記載し、プレゼンテーションやコンサルテーションができる。 6) 医療安全に配慮した基本的な手技を理解できる。	佐藤 佳澄	第二病棟2階 多目的室